

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	掲 載 ページ
本 部	7月14日(土)	映 画 会	土 木 学 会	本号本文 114 ページ
	7月25日(水) ~8月2日(木)	} 第9回水工学に関する夏期研修会	吹 田 市	本号本文 115 "
	8月21日(月) ~22日(火)		東 京	本号本文 116 "
	8月29日(水) ~30日(木)	} 第6回土木計画学講習会	名 古 屋 市	本号本文 116 "
	8月30日(木) ~31日(金)		広 島 市	本号本文 116 "
	9月6日(木) ~7日(金)	} 昭和48年度夏期講習会	東 京	本号本文 114 "
	10月1日(月) ~3日(水)	} 昭和48年度全国大会	札 幌 市	本号本文 114 "
	11月14日(水) ~15日(木)	} 第20回海岸工学講演会	名 古 屋 市	本号本文 115 "
中 部 支 部	6月25日(月)	第1回見学会	天 竜 市	5月号本文 119 "
	7月20日(金)	講 演 会	名 古 屋 市	本号本文 122 "
関 西 支 部	6月21日(木) ~22日(金)	} 「破壊力学とその応用に関する」講習会 ケーソン工事の省力化に関する研究会	大 阪 市	5月号本文 120 "
	7月26日(木)		同	本号本文 122 "
中国四国支部	7月27日(金)	} 「最近のコンクリート技術の進歩と問題点に関する講習会」	広 島 市	本号本文 123 "
	7月28日(土)		松 山 市	本号本文 123 "
西 部 支 部	7月24日(火)	新大村空港建設工事見学会	九 州 地 区	本号本文 123 "
	7月31日(火)	鳥栖ジャンクション建設工事見学会	同	本号本文 124 "
そ の 他	8月31日(金) ~9月1日(土)	} 関東地震50周年記念地震工学シンポジウム	東 京	本号本文 116 "
	9月4日(火) ~5日(水)		} 第17回回材料研究連合講演会	同
お 知 ら せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第10回衛生工学研究討論会のお知らせ</li> <li>■ 第4回岩の力学国内シンポジウム講演募集</li> <li>■ 「構造物の設計に対する解析の諸問題」に関する研究発表会論文募集</li> <li>■ 第21回レオロジー討論会講演募集</li> <li>■ 第23回応用力学連合講演会講演募集</li> <li>■ 第20回風に関するシンポジウム講演募集</li> <li>■ 第2回岩の力学講演会前刷集出版頒布のご案内</li> <li>■ 土木学誌広告料金について</li> <li>■ “地震応答解析と実例” お求めの方へ</li> </ul>			本号本文 115 " 本号本文 118 " 本号本文 119 " 本号本文 120 " 本号本文 121 " 本号本文 121 " 本号本文 124 " 本号本文 124 " 本号本文 124 "

支 部 所 在 地

北海道支部：郵便番号 060・札幌市中央区南1条西2丁目・長銀ビル5階（電 011-251-7038, 261-7742）

東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町18-25・丸七ビル3階（電 0222-22-8509）

関東支部：郵便番号 160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内（電 03-351-4133）

中部支部：郵便番号 460・名古屋市中区栄2丁目17番22号・科学館内 中部科学技術センター（電 052-231-3043）

関西支部：郵便番号 541・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号（電 06-271-6686）

中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町10番3号・自治会館内（電 0822-21-2666）

西部支部：郵便番号 810・福岡市中央区薬院2丁目14番21号（電 092-78-3716）

## 土木学会昭和 48 年度全国大会・第 28 回年次学術講演会

土木学会昭和 48 年度全国大会・第 28 回年次学術講演会は下記のとおり札幌市で開催することになり、講演申込みは 5 月 10 日で締切りました。講演申込みを行なった方は期日までに講演原稿をご提出下さいますようお願いいたします。

1. 実施期日：昭和 48 年 10 月 1 日（月）、2 日（火）、3 日（水）
2. 実施場所：北海道大学（札幌市北区）
3. 原稿提出期限：昭和 48 年 6 月 25 日（月）
4. 原稿提出先：土木学会本部内全国大会講演概要集係（160 東京都新宿区四谷一丁目）
5. その他：執筆規定、原稿用紙などが大幅に変更になっておりますので詳細は学会誌 4 月号 157～158 ページをご参照下さい。

## 昭和 48 年度夏期講習会

▶ 9 月 6 日（木）～7 日（金）◀

毎年一定のテーマを決め夏期講習会を開催致しておりますが、本年度は「基礎と地盤」のテーマにより開催致しますのでふるってご参加下さいますようお願い致します。

なお、詳細につきましては本誌 7 月号をご覧ください。

1. 期 日：1973 年 9 月 6 日（木）、7 日（金）の 2 日間
2. 場 所：厚生年金会館小ホール（新宿区番衆町 19・TEL 356-1111）
3. 参 加 費：未定
4. テ ー マ：基礎と地盤
5. 内 容

（9 月 6 日）

9：50～10：00	開会挨拶	土木学会会長	飯田房太郎
10：00～11：00	基礎地盤の調査	株式会社応用地質調査事務所	大矢 暁
11：00～12：00	土質の解析	早稲田大学	後藤 正司
12：00～13：00	昼食休憩		
13：00～14：00	くい基礎の設計	運輸省港湾技術研究所	沢口 正俊
14：00～15：00	くい基礎の施工	株式会社 間組	藤田 圭一
15：00～16：00	ケーソン基礎	木州四国連絡橋公団	吉田 巖

（9 月 7 日）

10：00～11：00	盛土の基礎	日本道路公団試験所	中沢 裕
11：00～12：00	岩盤基礎	建設省土木研究所	飯田 隆一
12：00～13：00	昼食休憩		
13：00～14：00	軟弱地盤対策	国鉄鉄道技術研究所	室町 忠彦
14：00～15：00	地中構造物と地盤	帝都高速度交通営団	渡辺 健
15：00～16：00	基礎の耐震設計	東京大学生産技術研究所	田村重四郎

## 映画会開催について

▶ 7 月 14 日（土）◀

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷 1 丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車）
2. 日 時：毎月第 2 土曜日 14.00～ 7 月は 14 日（土）です。
3. 上映作品：7 月は、次の映画を予定しております。

「火焔ジェット工法」 飛鳥建設（株）提供  
 「日本の水—水と生活」 } 水資源開発公団提供  
 「日本の水—水をつくる」 }

なお、上映映画は都合により変更することがございますので、あらかじめご了承下さい。

4. 参 加 費：無料 土木関係以外の方も歓迎致します。

本映画会に関する問合せは、土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。

共 催：土木学会関東支部

## 第 20 回海岸工学講演会

▶ 11 月 14 日 (水)~15 日 (木) ◀

第 20 回海岸工学講演会を下記により開催致します。講演申込みを行なった方で採用通知のあった方は期日までに原稿を提出して下さい。締切期日に遅れたものは受け付けられませんのでご注意ください。

1. 開催期日：1973 年 11 月 14 日 (水), 15 日 (木)
2. 場 所：第 1 会場：愛知県産業貿易会館 4 階第 1 会議室 (名古屋市中区丸の内 3 丁目 1 番 6 号)  
第 2 会場：愛知県婦人文化会館講堂 (名古屋市中区三の丸 1 丁目 2 番地)
3. 講演原稿締切：1973 年 7 月 16 日 (月) 必着

## 第 10 回衛生工学研究討論会のお知らせ

本年度の衛生工学研究討論会は土木学会講堂にて 1974 年 1 月 28 日より 30 日の間に行なう予定ですので関心のある方はご準備下さい。

本年は『水の高度浄化』に関するセミナーと自由題目の 2 種類の論文を募集いたします。水の高度浄化に関するセミナーは技術 (ハードウェア) と考え方 (ソフトウェア) を中心とする 2 つのグループに分けて行なう予定です。セミナーを対象に応募された論文でも組合わせの都合上自由題目の部で発表をお願いすることもありますのでご了承下さい。

原稿締切は 9 月 15 日とし、原稿は本会所定のオフセット用原稿用紙 6 ページといたします (ページ数を厳守のこと) ので必要な方はお申出下さい。

## 第 9 回水工学に関する夏期研修会

▶ 7 月 25 日 (水)~8 月 2 日 (木) ◀

第 9 回水工学に関する夏期研修会を下記により開催いたしますのでふるってご参加下さいますようお願いいたします。

1. 開催期日：1973 年 7 月 25 日 (水)~8 月 2 日 (木)
2. 会 場：大阪大学工学部図書分館視聴覚ホール (冷房完備)  
(吹田市山田上 Tel. 068-78-5111 阪急・千里線終点北千里下車徒歩 15 分)
3. 対 象：大学卒業程度
4. 題目・講師および日程：(題目は多少変更することがあります)

### A コース：7 月 25 日 (水)~7 月 28 日 (土)

7 月 25 日 (水)	9:00~9:30	受 付	
	9:30~12:00	水資源計画方法論	大阪大学教授 室田 明
	13:30~16:30	水管理と環境	京都大学教授 岩佐 義朗
7 月 26 日 (木)	9:00~12:00	水量制御と貯水池操作	京都大学教授 石原 安雄
	13:30~16:30	流域の変遷をめぐる人間と川	東京大学教授 高橋 裕
7 月 27 日 (金)	9:00~12:00	最近の河川改修の動向—淀川を例として—	建設省近畿地建院川工事事務所長 長尾 精
	13:30~16:30	都市河川の諸問題—寝屋川水系を中心として—	大阪府土木部都市河川課長 郡智 俊雄
7 月 28 日 (土)	9:00~12:00	降水と流域斜面の安定	神戸大学教授 田中 茂
	13:30~16:00	(特別講義)	東京工業大学教授 吉川 秀夫

### B コース：7 月 31 日 (月)~8 月 2 日 (木)

7 月 30 日 (月)	9:00~9:30	受 付	
	9:30~12:00	密度流について—海洋における内部波—	東京大学地震研究所江の島津波観測所長 梶浦欣二郎
	13:30~16:30	砕波特論	大阪大学教授 榎木 亨
7 月 31 日 (火)	9:00~12:00	海岸土砂収支と海浜変形	京都大学教授 土屋 義人
	13:30~15:00	海岸浸食対策	建設省土木研究所河川部長 豊島 修
	15:00~16:30	港湾構造物の設計の自動化	運輸省港湾技術研究所設計基準課長 中山 種清
8 月 1 日 (水)	9:00~12:00	海岸堤防の水理	徳島大学教授 三井 宏
	13:30~15:00	構造物の流体力弾性応答	大阪大学教授 小松 定夫
	15:00~16:30	船体振動と付加質量	大阪大学教授 松浦 義一
8 月 2 日 (木)	9:00~12:00	海中橋脚の諸問題	本四連絡橋公団神戸調査事務所長 相良 正次
	13:30~16:00	(特別講義) 波の制御に関する諸問題	京都大学教授 岩垣 雄一

5. 定 員：Aコース 100名・Bコース 100名
6. 参 加 費：1コースにつき8000円（テキスト代を含みます）
7. 申 込 方 法：受講希望者は、① 氏名、② 勤務先および職名、③ 連絡先住所、④ コース名を明記のうえ参加費（現金書留）を添えてお申込み下さい。
8. 申 込 先：社団法人土木学会事業課（郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 電話 東京（03）351-5138）
9. 申 込 期 限：7月7日（土）

## 第6回土木計画学講習会

- ▶ 東京会場 8月21日(月)～8月22日(火) ◀  
 ▶ 名古屋会場 8月29日(水)～8月30日(木) ◀  
 ▶ 広島会場 8月30日(木)～8月31日(金) ◀

「土木計画における費用便益分析」と題しまして開催いたしました昨年の第5回講習会に引き続きまして、本年は「施工の計画・管理に対する科学的接近」について講習会を開催いたします。

本年の講習会は、近時土木技術者の活動の場において強く要望される施工の計画・管理について各界の第一線の方々をお願いして講演していただく有意義なものをごぞいまして、建設省の土木施工管理技術士制度を補完する性格ももたせました。

新しい時代の土木技術者として、常日頃要求される技法を修得・補正する良い機会でもございますので、ふるってご参画方ご案内いたします。

なお、今回は講習の内容が広く、かつ現場の土木技術者、第一線の土木技術者向けに構成されております関係から会場を3か所といたしますので、ご都合のよろしい会場をお選びいただけるものと存じます。

1. 主 題：施工の計画・管理に対する科学的接近
2. 主 催：土木学会土木計画学研究委員会
3. 共 催：土木学会中部支部、同中国四国支部
4. 期 日：会場・定員

▶ 東京会場：1973年8月21日（月）～8月22日（火）、於・土木学会講堂、定員180名

▶ 名古屋会場：1973年8月29日（水）～8月30日（木）、於・名古屋市中区役所ホール、定員500名

▶ 広島会場：1973年8月30日（木）～8月31日（金）、（会場、定員未定）

注：各会場とも定員になりしだい締切ります（先着順受付）。

### 5. プログラム：

- ＜第1日＞ 9:30～9:40（10'） 開会あいさつ  
 9:40～11:30（110'） 施工の計画・管理における情報処理の問題 中村 慶一（東洋大）  
 12:30～15:00（150'） 施工の計画・管理における品質の問題 成田 久夫（建設省）  
 15:00～16:30（90'） 施工の計画・管理における安全の問題 加来 利一（労働省）  
 ＜第2日＞ 9:30～12:00（150'） 施工の計画・管理における工程の問題 宮内 敬保（東海大）・宇津橋昭八郎（首都高）  
 13:00～14:30（90'） 施工の計画・管理における原価の問題 本山 翫（建設省）  
 14:30～16:00（90'） 施工の計画・管理における積算・見積りの問題 岡田 宏（国鉄）

### 6. 参 加 費：会員 @ 3500円、会員外 @ 4000円（ただし、テキスト代を含む）

7. 申込み方法：3会場ともB5判大の用紙に下記の諸件を記入、参加費同封のうえ現金書留便にて申込んで下さい。ただし、前金不能の際は、上記用紙にてその旨明記のうえ普通便にて申込んで下さい。

- ① 氏名、② 所属機関および職名、③ 連絡先〔郵便番号、住所（職場/自宅・明記のこと）、氏名〕、④ 会員区分、⑤ 参加会場名、⑥ その他。

送付先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目

土木学会事務局土木計画学講習会係（電話 03-351-5130 番）

## “関東地震50周年記念地震工学シンポジウム”参加募集

本年は関東地震の50周年にあたりますので、50周年を記念すると同時に地震工学の今後の発展に資すべく記念シンポジウムを催すことになりました。

つきましては、標記シンポジウムは、次の要領により開催し、国内および国外の地震工学研究者、技術者の研鑽および研究情報交換の場にいたしたいと存じますので、会員各位には下記要領をご参照のう

え、ふるってご参加下さるようご案内いたします。

共催：地震学会・土質工学会・土木学会（幹事学会）・日本機械学会・日本建築学会

1. 開催期日：1973年8月31日（金）、9月1日（土）  
の2日間

2. 会場：ニッショーホール（東京都港区芝西久保  
明舟町18番地、地下鉄銀座線 虎ノ門駅  
下車徒歩3分、電 03-580-7052）

3. 定員：500名

4. 参加費：4000円（論文集代を含む）

5. 申込要領：

- (1) 申込締切期日：1973年8月15日（水）  
(2) 申込方法：官製はがき大の用紙に「関東地震50周年記念地震工学シンポジウム参加申込み」と必ず明記し、氏名、勤務先、連絡先住所、所属学会、参加項目（シンポジウム、懇親会の別を明記）を記載し、所要の参加費を添えて下記幹事学会へお申込み下さい。

なお、なるべく現金書留でお払込み願いたく、銀行送金の場合は振込金受取書の写を参加申込書と一緒に送り下さい。

- (3) 申込先：社団法人土木学会（〒160 東京都新宿区四谷1丁目・電話 03-351-5138）

銀行送金：振込銀行 第一勧業銀行四谷支店

口座 普通預金

口座名義 土木学会関東地震50周年記念地震工学シンポジウム

- (4) 締切期日前でも定員になり次第申込みを締切りますので、なるべく早目にお申込み願います。  
(5) 原則として参加申込みの取消しがありましても参加費の払い戻しはいたしませんのでご了承下さい。  
(6) 論文集は印刷上の都合により当日会場にてお渡しいたします。したがって、お申込み入金のあるり次第参加券とともに論文集引換券を事前にお送りいたしますので、当日ご参加の際にご持参下さい。
6. 懇親会：参加ご希望の方は会費を添えて、シンポジウム参加申込みと同時に申し込み下さい。ただし、定員になり次第締切ります。

- (1) 日時：8月31日（金）18:00より  
(2) 会場：葵会館（東京都港区赤坂葵町2-1）  
(3) 会費：2500円  
(4) 定員：100名

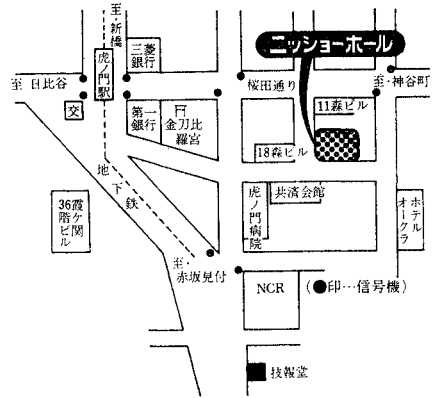
7. プログラム：

第1日：8月31日（金）

9:00～9:10 開会あいさつ

9:10～10:28	A-1	繰返し載荷による各種鋼材・溶接接合部の破壊挙動	京都大学工学部	金多 潔 ほか
	A-2	オンライン動的破壊実験方式	東京大学地震研究所	伯野 元彦
	A-3	原子力施設の配管の限界設計に関する考察	三菱重工業（株）神戸研究所	藤田 勝久 ほか
	A-4	振動による配管の破壊実験（第1報）	東京芝浦電気（株）総合研究所	斑目 春樹 ほか
	A-5	Coulomb Slip and Yielding of a Structure Subjected to Earthquake Motions	Senior Lecturer, Civil Engineering, Melbourne University.	L.C. Schmidt ほか
	A-6	振動実験における減衰評価に関する研究	（株）竹中工務店技術研究所	木下 勝弘 ほか
10:28～10:37		休 息		
10:37～11:55	A-7	鉄筋コンクリート構造要素の履歴減衰能と低層鉄筋コンクリート構造物の耐震設計への応用	神戸大学工学部	河村 広 ほか
	A-8	鉄筋コンクリート柱の崩壊防止に関する総合研究	建設省建築研究所	中野 清司 ほか
	A-9	鉄筋コンクリート構造物の崩壊過程と地震応答性状	早稲田大学大学院	平松 晃 ほか
	A-10	衝撃的載荷をうける鉄筋コンクリート構造部材の変形と破壊	防衛大学校土木教室	竹田 仁一 ほか
	A-11	Dynamic Behaviour of Reinforced Concrete Frame with Infilling Masonry	Chief of the Seismic Mechanics Division, Geophysical Institute.	S. Sachanski ほか
	A-12	公共産量住宅の耐震安全性評価に関する研究	建設省建築研究所	岡本 伸 ほか
11:55～12:45		昼 食・休 息		
12:45～14:55	B-1	等価バネ・マス系による建物と地盤の相互作用解析	（株）日建設計	今村 純也 ほか
	B-2	Soil-Substructure Interaction Effects on the Seismic Response of Buildings	早稲田大学理工学部	桜井 譲爾 ほか

会場案内図



	B-3	弾性地盤上の構造物群の連成運動	名古屋大学工学部	多賀 直恒 ほか
	B-4	軟弱地盤上抗支持建物の動特性	鹿島建設(株)技術研究所	太田外気晴 ほか
	B-5	埋立軟弱地盤にたつ抗支持建物の地震動観測	大成建設(株)技術開発部	河村 壮一 ほか
	B-6	Estimation of Dynamic Behaviors of Soil Layer-Pile Foundations Interaction System During an Earthquake	建設省建築研究所	杉村 義広
	B-7	On the Relationship Between Soil Conditions and Building Damage in the Tokachi-Oki Earthquake of May 16, 1968	広島大学工学部	嶋津 孝之 ほか
	B-8	十勝沖地震(1968)における高架橋の被害	国鉄構造物設計事務所	森重 龍馬 ほか
	B-9	地盤と埋設構造物の振動性状	建設省建築研究所	岩崎 敏男 ほか
	B-10	沈埋トンネルに於ける地震時の歪の観測	東京大学生産技術研究所	田村重四郎 ほか
14:55~15:03		休 憩		
15:03~17:00	B-11	浸水した砂の振動土圧	名古屋大学工学部	市原 松平 ほか
	B-12	薄層要素による地下壁にかかる振動土圧の解析	千代田化工建設(株)研究所	山本 鎮男 ほか
	B-13	地盤の非線形挙動を考慮した振動土圧	京都大学大学院	佐藤 忠信 ほか
	B-14	粘弾性層地盤上の構造物群の振動特性	京都大学防災研究所	日下部 馨 ほか
	B-15	非線形地盤連成を考慮した多層構造物の地震応答	大阪大学工学部	井上 豊 ほか
	B-16	地震動の位相差および地盤-構造物の相互作用を考慮した地震応答	東京理科大学理工学部	井口 道雄
	B-17	建築物の振動勢力の地下透散性に関する一考察	日本大学生産工学部	金井 清
	B-18	建物と地盤の相互作用に関する基礎的研究	(株)竹中工務店技術研究所	野島 治
	B-19	Forced Vibrations of Rigid Bodies Resting on the Surface of the Ground Soil	工業技術院機械技術研究所	二井 義則

第 2 日：9 月 1 日 (土)

9:00~9:55	特別講演-1	耐震土木工学の進歩をかえりみて	東京大学名誉教授	岡本 舜三
9:55~10:50	特別講演-2	題目未定	東京大学名誉教授	坪井 忠二
10:50~11:00		休 憩		
11:00~11:55	特別講演-3	RC造建物の地震	東京大学名誉教授	武藤 清
11:55~13:00		黙祈・昼食・休憩		
13:50~14:57	B-20	長大橋基礎-地盤系の動的特性	建設省土木研究所	栗林 栄一 ほか
	B-21	On Movements of a Rigid Body in Semi-Infinite Elastic Medium	東京大学工学部	大崎 順彦
	B-22	建物-Sway, Rocking-表層地盤系のモデル化に関する研究	早稲田大学理工学研究所	風間 了 ほか
	B-23	地盤構造物連成系における減衰効果の導入法について	(株)竹中工務店技術研究所	対馬 義幸 ほか
	B-24	地盤-構造物基礎系の相互作用に関する考察	京都大学工学部	吉原 進 ほか
	B-25	構造物内での強震記録から推定した基盤の地震波	神戸大学工学部	水畑 耕治 ほか
	B-26	地盤構造物系のモデル化についての一方法	佐賀大学理工学部	荒牧 軍治 ほか
	B-27	構造物基礎のランダム応答に関する実験的研究	京都大学工学部	北浦 勝 ほか
	B-28	構造物基礎の動的ばね係数と減衰定数	京都大学防災研究所	土岐 憲三 ほか
14:57~15:08		休 憩		
15:08~17:05	C-1	層状地盤の波動伝播問題-M <sub>1</sub> 波, M <sub>2</sub> 波の場合-	建設省建築研究所	水野二十一 ほか
	C-2	The Influences of Non-Linear Material Properties, Reservoir Conditions, and Differences of Ground Motions on the Behavior of Rock Fill Dams During Earthquakes	電力中央研究所技術第2研究所	渡辺 啓行
	C-3	構造物-基礎-地盤系モデルとその動的解析	鹿島建設(株)	小林 俊夫 ほか
	C-4	Elasto-Plastic Dynamic Response of Foundations by Finite Element Method	鹿島建設(株)技術研究所	松本 喬 ほか
	C-5	動的粘性を考慮した三次元地盤と地上構造物の地震時連成震動解析(地盤の軟質性と動的応答の関係および半地下取納による制震効果)	電力中央研究所技術第2研究所	林 正夫 ほか
	C-6	鉄筋コンクリート部材の弾塑性解析	(株)武蔵構造力学研究所	津川 恒久 ほか
	C-7	有限要素法によるフィルタイプ防波堤の地震応答計算と観測結果の比較	運輸省港湾技術研究所	土田 肇 ほか
	C-8	土木構造物の地震応答計算に有限要素を適用した2,3の例について	(株)大林組技術研究所	後藤 洋三
	C-9	非比例減衰を有する多自由度系の不規則応答解析とその長大つり橋タワー, ピア系への応用	京都大学工学部	竹宮 宏和 ほか
17:05~17:15		閉会あいさつ		

注：1. 講演時間は、1論文討議を含め13分の予定です。  
2. 紙面の都合により講演者のみ掲載致しましたのでご了承下さい。

## 第4回岩の力学国内シンポジウム講演募集

<主催：土木学会・日本鉱業会・日本材料学会・土質工学会>

1964年に第1回岩の力学国内シンポジウムが東京で開催されてより、その第2回が同じく東京で、

また、その第3回が1970年に京都でそれぞれ行なわれ、そして本年その第4回目が下記のように東京で開催されることになりました。この間、国際的には、1966年にリスボンで第1回、1970年にベオグラードで第2回国際岩の力学会議が開かれ、また、1974年には、デンバーでその第3回会議が開かれる予定であるなど岩の力学分野の調査研究は国の内外を問わずますます活発となっております。

この時に当たり、次のように第4回国内シンポジウムを催し、わが国岩の力学の分野における研究者、技術者の交流ならびに研賛、情報交換の場といたしたく存じます。

つきましてはこのシンポジウムの成果を高めるため各位にはふるってご応募くださるようご案内いたします。

記

1. 期 日：1973年11月27(火)、28(水) (2日間)
2. 会 場：ニッショーホール (東京都港区芝西久保明舟町18番地 Tel. 03-580-7052)
3. 講演申込締切：1973年6月30日(土) 正午
4. シンポジウムの形式と応募論文の取扱い：本シンポジウムでは自由論文のほか推薦論文の発表を行なう。本会告による応募論文は自由論文として扱う。その講演時間は応募論文数により1題当たり15分程度となることもありうる。
5. 発表論文の募集要項：
  - (1) 発表論文の内容：岩の力学に関するもの(発表論文は最近の研究に属する未発表のものが望ましいが、一部既発表のものを含んでさしつかえない)。
  - (2) 応募方法：(a) 論文発表希望者は6月30日(土)までに所属学会、氏名、勤務先、連絡先を明記のうえ邦文400字以内の梗概を所属学会または幹事学会(土質工学会；〒105 東京都港区西新橋1丁目13番5号 東亜別館 Tel. 03-502-6256~8)に提出すること。  
(b) シンポジウム運営委員会は発表論文の採否を決定し応募者に通知する。  
(c) 採択された論文の著者は8月31日(金)までに次の体裁を整えた原稿を所属学会または幹事学会に提出すること。
  - (3) 発表論文の体裁：
    - (a) 用語は邦文とする。
    - (b) 著者は送付された所定原稿用紙5枚(図、表、写真を含む)にタイプする。また、別のタイプ用紙1枚に英文タイプによる要旨を添付すること。
    - (c) タイプの要領などは執筆者に送付する執筆要項によること。
  - (4) 予稿集：(a) 発表論文は前刷としてオフセット印刷する。  
(b) 著者には論文1題につき別刷50部を贈呈する。ただし50部以上の増刷は原則として行わない。

## 「構造物の設計に対する解析の諸問題」に関する研究発表会論文募集

### (第20回 橋梁・構造工学研究発表会)

例年行なわれております橋梁・構造工学研究発表会を本年度は標題のテーマにより、下記のとおり開催致します。多数の方がふるって論文提出にご応募下さい。なお、今回は昨年のようなパネル討論会のほか、一般報告も企画してみたいと考えております。

記

1. 期 日：1973年11月13日(火)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 主 催：日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
4. テーマの内容：

近年、有限要素法の応用、電子計算機の効果的利用などにもなって構造解析は一段と高度化、精緻化してきた。他面、そのような解析結果の設計への反映、実構造物の挙動との関連などの点においては、問題が多く残されており、反省すべき点も少なからず存在すると考えられる。このような観点から、設計のための解析という見地に立って、次の4つのサブテーマに適合する研究発表を対象とする。

- (1) 解析方法または解析計算の評価
    - a) 数値解析におけるモデル化の妥当性、精度の評価、あるいはどのような条件において有限要素法、マトリクス解析、差分法などがその長所を発揮するのか、というような問題。
    - b) 設計に反映されうるような実験解析手法とそれに関連した問題。
    - c) 構造、材料の非線形解析あるいは立体解析を行なった場合、設計条件あるいは設計結果との関連。
    - d) 自動設計あるいは Computer-aided Design なる手法が近年開発されつつあるが、それが設計に反映される場合の問題。
  - (2) 実際構造物の挙動と解析仮定の評価  
 実際構造物の挙動の実測あるいは調査の結果から、解析の仮定あるいは解析計算の精度などを論じたもの。
  - (3) 異種構造要素間の相関性解析の評価
    - a) 上部構造と下部構造または基礎との相関  
 上部構造の解析は独立して扱われることも多いが、それを支持する下部・基礎構造の影響を解析に考慮した場合、設計の結果にどのように反映されるか。
    - b) 異種構造要素間の相互作用の設計への影響  
 たとえば橋梁では主部材と二次部材との相関、あるいは建築ではコア、骨組み、スラブ間の変形適合性にもづく相互作用を考慮した解析を行なう場合、おのおの独立に扱った場合にくらべて設計にどのような差異を生じるか、あるいはどのような影響を互いに及ぼし合うか。
  - (4) 二次的効果の設計解析における評価  
 いわゆる二次応力の役割、有限変形の影響などは構造物の大型化、複雑化、複合化にともなって設計上重要な影響をもたらす場合がある。これらの影響に関連した諸問題を扱う。
5. 申 込 要 領：
- 1) 7 月末までに論文題目、発表者氏名（連名の場合、登壇者に○印を付ける）、勤務先および連絡先と、100 字程度の内容梗概を添えて、所属学会宛お申込み下さい。
  - 2) 採否は日本学術会議構造研究連絡委員会にお任せ願います。採用のうへは、9 月 20 日までに講演原稿の提出をお願いすることになります。
  - 3) 発表された研究はさらに選考のうへ、欧文論文集として刊行すべく、論文原稿の執筆をお願いすることがあります。

## 第 21 回レオロジー討論会講演募集

<講演申込締切；6 月 30 日（土）>

- |            |   |
|------------|---|
| 主          | 催：日本レオロジー学会   |
| 共          | 催：土木学会、ほか 13 学協会  |
| 1. 期       | 日：1973 年 10 月 23 日（火）、24 日（水）、25 日（木）   |
| 2. 会       | 場：京都会館別館ホール（京都市左京区岡崎公園）   |
| 3. 主       | 題：高分子の流動特性とその工業への応用<br>土木工学におけるレオロジー、レオロジー一般  |
| 4. 申 込 要 領 | 講演題目、研究者氏名（連名の場合は講演者に○印）、勤務先、連絡先、概要説明（400 字以内）、スライド使用の有無を記入して申込むこと。ただし 1 件あたり講演 20 分、討論 10 分を予定しています。 |
| 5.         | 講演申込締切：1973 年 6 月 30 日（土）   |
| 6.         | 講演要旨締切：1973 年 8 月 11 日（土）<br>あらかじめ要旨集を送付したいので期日を厳守して下さい。要領は講演採択後通知します（講演の採否、プログラムの編成その他は世話人にご一任下さい）。  |
| 7.         | 講演申 込 先：〒606 京都市左京区吉田泉殿町 1 の 101（Tel. 761-5321）<br>日本レオロジー学会討論会係 宛                                    |



## 第23回応用力学連合講演会講演募集

＜申込締切 7 月 20 日・開催 10 月 30,31 日＞（開催地：東京）

主催：日本学術会議力学研究連絡委員会・応用物理学会・土木学会・\*日本機械学会・日本建築学会・\*日本鉱業会・日本航空宇宙学会・日本数学会・日本造船学会・\*日本物理学会（\*印は幹事学会）

1. 開催要領：本講演会を活発にするために、次の要領により開催します。

- 1) テーマ別のシンポジウムとこれに関連した研究論文の発表
- 2) テーマにかかわらない研究論文の発表

テーマ別のシンポジウムにおける特別講演は、運営委員会が幾人かの方々をお願いします。これとは別に、1), 2) の研究論文の発表を広く募集しますから、ふるって応募してください。今年のテーマは次のとおりです。

2. テーマ：A) 流体力学における新しい数値的、実験的手法、B) 構造力学における動的問題、C) 信頼性工学における力学的諸問題（統計、熱、事故解析、防災も含む）、D) 生体力学

3. 日時：1973 年 10 月 30 日（火）、31 日（水）

4. 会場：日本学術会議（東京都港区六本木 7-22-34）

5. 申込期日：1973 年 7 月 20 日（金）所属学会必着

6. 申込要領：講演申込みは、所属学会を通じて行ない、参加学会会員以外の方は、直接幹事学会へ申込みこと。講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。申込方法は下記要領で行なうこと。

- a) 講演申込希望者は、まずはがきに「第 23 回応用力学連合講演会講演申込用紙・原稿用紙請求」と題記、①通信先、②所属学会名および会員資格、③氏名を明記のうえ所属学会あて請求してください。
- b) 上記正式講演申込用紙に改めてご記入、講演申込締切期日までに所属学会へ着信するよう折返しご提出ください。上記 a) のはがきによる請求だけでは講演申込受付にはなりません。ご注意ください。
- c) 講演部門の分類：テーマに関連した論文は上記の A) B) C) D) のテーマの分類を用い、テーマによらないものは E) とする。
- d) 運営委員会において、都合により希望の講演部門を変更することもある。

7. 前刷原稿：所属学会より送付する所定の前刷原稿用紙を用い、2 枚の概要を 1973 年 8 月 24 日（金）までに幹事学会（日本機械学会）へ送付のこと。

8. Proceedings：従来どおり欧文論文集は、日本学術会議力学研究連絡委員会欧文論文集刊行会によって発行される予定。その詳細については講演者あて追って連絡します。

## 第20回風に関するシンポジウム講演募集

標記シンポジウムを下記により開催致しますので講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1973 年 11 月 28 日（水）

2. 会 場：気象庁講堂（東京都）

3. 共催学会：地震学会・土木学会・日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空宇宙学会（幹事学会）・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会

4. 講演申込締切期日：1973 年 8 月 31 日

5. 講演申込方法：題目、講演者氏名（連名の場合は講演者に○をつける）、勤務先、連絡先住所を明記し、100 字程度の内容梗概を添付して幹事学会（日本航空宇宙学会）または所属学会宛お申込み下さい。

6. 講演時間：1 講演 15 分程度

7. その他：前刷集は作成致しませんのでご了承下さい。

中部支部行事案内 (郵便番号 460 名古屋市中区栄2丁目17番22号 科学館内)  
中部科学技術センター内 電 052-231-3043

講演会—衣浦湾沈埋トンネル工事

▶ 7月20日(金) ◀

1. 日 時：1973年7月20日(金) 9.50~17.00
2. 会 場：市立名古屋科学館天文館ホール 電話 名古屋 (052) 201-4486  
名古屋市中区栄2丁目17-22 地下鉄東山線伏見下車南へ300m
3. 題目と講師：
 

9:50~10:00	開会挨拶	土木学会中部支部長	西畑 勇夫
10:00~10:30	総 説	運輸省第五港湾建設局長	原口 好郎
10:30~11:00	計 画	運輸省第五港湾建設局衣浦湾工事事務所長	石渡 友夫
11:00~12:00	調 査	運輸省第五港湾建設局名古屋工事事務所次長	齊藤 節制
13:00~14:00	設 計	運輸省第五港湾建設局設計室長	藤森 研一
14:00~15:00	施 工	運輸省第五港湾建設局企画課長	高野 聖三
15:10~16:50	映画 衣浦湾沈埋トンネル“調査・陸上・海上の各論”		
16:50~17:00	閉会挨拶	土木学会中部支部幹事長	足立 昭平
4. 定 員：200名(先着順)
5. 参 加 費：500円(テキスト代を含む)
6. 申 込 期 限：1973年7月10日(火)
7. 申 込 方 法：参加希望者は勤務先・連絡先・氏名・会員種別を明記し、参加費を添えて土木学会中部支部へお申し込みください。

関西支部行事案内 (郵便番号 541 大阪市東区船場中央2丁目2番地 船場センタービル4号館)  
409号 電 06-271-6686 振替口座 大阪 82599

(1) ケーソン工事の省力化に関する研究会

▶ 7月26日(木) ◀

共催：(社)土木学会関西支部・(社)建設コンサルタンツ協会大阪支部・建設技術資料センター

近年の建設需要の増大と労働力不足に伴う大幅な省力化の要請に対しては、各方面でいろいろと開発・研究がすすめられており、国家的な施策の一環として、近畿地方建設局における昭和47年度の外委託の1つに「ケーソン工事の省力化に関する基本調査」がとりあげられました。この研究会は、この報告書の内容をベースとする〈省力化と問題点の検討〉ならびに〈省力化への提案〉を対象に研究をするものでありますが、設計・施工に携わる幅広い分野からの参加を期待しております。

1. 日 時：1973年7月26日(木) 14:00~17:00
2. 会 場：大阪科学技術センター8階小ホール 電話大阪(06)443-5321  
大阪市西区靉1-118(地下鉄四ツ橋線本町下車、北へ150m、靉公園北東角)
3. 題目と報告者等：
 

14:00~14:05	開会あいさつ	土木学会関西支部長	
14:05~14:30	① ケーソンの設計における省力化と問題点の検討ならびに省力化への提案	八千代エンジニアリング(株)大阪事務所	浜 幸雄
14:30~15:00	② オープン・ケーソンの施工における省力化の問題点の検討ならびに省力化への提案	(株)大林組本店	長石 暢二
15:00~15:30	③ ニューマチック・ケーソンの施工における省力化の問題点の検討ならびに省力化への提案	白石基礎工事(株)	平川 裕士
15:40~16:55	グループ・ディスカッション	司会：近畿地方建設局近畿技術事務所	島崎 静
		(社)建設コンサルタンツ協会大阪支部	柳田 保男
16:55~17:00	閉会あいさつ	建設コンサルタンツ協会大阪支部長	藤田 峻五
4. 定 員：90名
5. 参 加 費：無 料  
報告書代：1400円(B5版 約120ページ オフセット印刷、送料込み)  
限定出版いたしますので申込期限までにお申し込みください。
6. 申 込 期 限：1973年7月11日(水)
7. 申 込 方 法：参加ご希望の方は、参加予定人員をおまとめのうえ、はがきまたは電話にて、また報告書をご希

望の方は、勤務先・連絡先・氏名および参加の有無を明記（様式随意）し報告書代を添えて、土木学会関西支部へお申し込みください。申込期限までに送金のあった方には報告書前送いたします。期限後送金で参加希望の方には報告書引換券をお送りします（当日引換）。

(付) テキスト頒布について

構造工学—長大橋梁の諸問題—	頒価	2 200 円	送料	130 円
土木工事における土中水の扱い方	〃	900 円	〃	130 円
工事の安全対策	〃	600 円	〃	130 円
シールド工法研究会資料（地下鉄シールドの問題点の2点1組） シールド工事施工上の問題点	〃	100 円	〃	90 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込みください。

中国四国支部行事案内（郵便番号 730 広島市基町 10 番 3 号 自治会館内）  
電話 0822-21-2666

最近のコンクリート技術の進歩と問題点に関する講習会

主催：日本材料学会中国四国支部  
共催：土木学会中国四国支部、日本建築学会中国支部・四国支部  
協賛：中国生コンクリート協会、四国生コンクリート協会、コンワ会

○中国地区広島会場

1. 期日および場所：1973年7月27日（金）広島市基町5番44号 広島商工会議所ビルディング会議場

2. 題目および講師：

9:30~9:40	開会挨拶	日本材料学会中国四国支部長・土木学会理事	荒木 謙一
9:40~10:50	新しいセメントの特性と利用の方向		徳島大工 荒木 謙一
10:50~12:00	早期脱型技術の進歩		徳島大工 河野 清
13:00~14:10	海砂利用の問題点と対策		広島大工 船越 稔
14:10~15:20	コンクリート技術の進展と設計施工上の問題点		京都大工 森田 司郎
15:30~16:40	新しいコンクリート用化学混和剤		京都大工 小柳 治

○四国地区松山会場

1. 期日および場所：1973年7月28日（土）松山市二番町4丁目4 愛媛県建設会館

2. 題目および講師：

9:30~9:40	開会挨拶	日本材料学会中国四国支部長・土木学会理事	荒木 謙一
9:40~10:50	コンクリート技術の進展と設計施工上の問題点		京都大工 森田 司郎
10:50~12:00	新しいコンクリート用化学混和剤		京都大工 小柳 治
13:00~14:10	新しいセメントの特性と利用の方向		徳島大工 荒木 謙一
14:10~15:20	海砂利用の問題点と対策		愛媛大工 松本 三郎
15:30~16:40	早期脱型技術の進歩		徳島大工 河野 清

▶受講料(テキスト代含む)：2 000 円 (当日会場にて徴収)

▶定員(1会場につき)：200名

▶講習会参加申込み先：〒700 岡山市津島 岡山大学工学部機械工学教室内 日本材料学会中国四国支部

西部支部行事案内（郵便番号 810 福岡市中央区薬院2丁目14番21号）  
電話 092-78-3716

(1) 新大村空港建設工事見学会

▶ 7月24日(火) ◀

- 期日：1973年7月24日(火)(小雨決行)
- 集合および解散場所・時刻：当日12時30分までに国鉄諫早駅前集合のこと  
見学行程：諫早駅前発～フェリーボートにより箕島上陸～空港建設工事見学、諫早駅前 17:00(頃)解散
- 参加費：600円(当日支払のこと)
- 申込締切：1973年7月16日まで(定員35名(自動車による随行おことわり))
- 申込方法：参加申込書に返信用往復はがき(住所氏名郵便番号記入)同封のうえ申込むこと。
- 申込先：福岡市中央区薬院2丁目14-21 土木学会西部支部

(2) 鳥栖ジャンクション建設工事見学会

▶ 7月31日(火) ◀

1. 期 日：1973年7月31日(火) (小雨決行)
2. 集合および解散場所・時刻：当日・西鉄久留米駅バスセンター 0番乗場へ11:00までに集合  
行程：インターチェンジ工事見学、竣工せる新田大橋(福岡県大川市)通過、西鉄久留米駅前  
16時00分(頃)解散
3. 参加費：1000円(弁当共)(当日支払のこと)
4. 申込締切：1973年7月23日まで(定員50名(自動車による随行おことわり))
5. 申込方法：参加申込書に返信用往復はがき(住所氏名郵便番記入)同封のうえ申込むこと。
6. 申込先：福岡市中央区薬院2丁目14-21 土木学会西部支部

第2回岩の力学講演会前刷集出版物頒布のご案内

1973年2月16日に関連4学会(土質工学会, 土木学会, 日本材料学会, 日本鉱業会)共催により開催した第2回岩の力学講演会の前刷集を下記により頒布してまますのでご希望の方はご購入下さい。

記

体 裁：A4判オフセット印刷, 130ページ

定 価：2000円(送料140円)

目 次：

テ ー マ：現場における岩盤計測と設計・施工への応用

- (1) 岩盤調査の結果が施工にどのように生かされるか 国鉄鉄道技術研究所 池田和彦
- (2) 鉱山における岩盤計測の実例 通産省公害資源研究所 高多 明
- (3) 近接爆破に対する空洞の安全性の検討と設計・施工への応用 京都大学工学部 伊藤一郎・佐々宏一
- (4) ダム基礎における岩盤計測とその設計・施工への応用 東京電力高瀬川水力建設本部 藤井敏夫
- (5) 橋梁基礎における岩盤調査の実施例——海底岩盤調査へのアプローチ—— 本州四国連絡橋公団 吉田 巖
- (6) 地下発電所における岩盤計測とその設計・施工への応用 電力中央研究所 日比野敏

購入申込先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会刊行物頒布係(電話 03-351-5138)

「土木学会誌」広告料金について

土木学会誌は大正4年2月(1915年2月)に第1巻第1号を発行して以来、本年度で58年目を迎えました。この間、学会の看板として多くの会員に親しまれ、内容の充実、会員数の増加に伴う発行部数の飛躍的増加となって、土木技術の進展とともに成長して参りました。これもひとえに関係各位のご協力の賜と深く感謝いたしております。学会誌の広告料金は現在下記のとおりですので貴社の広報活動の一つとしてぜひご利用下さるようご案内いたします。

土木学会誌1ページあたり広告料金(単位ページ・円)

	表紙2	表紙3	表紙4	後 付	色 紙	繰 込 (持込み)
料 金	70 000	60 000	80 000	50 000	60 000	60 000

\* 1/2 ページの場合は半額とする。

“地震応答解析と実例” お求めの方へ

本年2月に刊行しました“地震応答解析と実例”に誤りがありましたので正誤表をつくりましたので必要の方ははがきで下記へご連絡下さい。

連絡先：160 東京都新宿区四谷一丁目 土木学会刊行物頒布係